南太秦だより

令和７年度前期学校評価結果

令和
京都市立南太
校長　上

令和７年度の前期学校評価の結果と考察をお知らせいたします。保護者の皆様には、Microsoft Forms によ
価へのご協力、誠にありがとうございました。

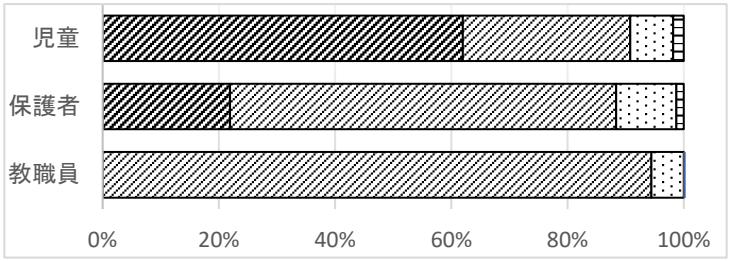
アンケート項目を『確かな学力』『豊かな心』『健やかな体』の3つに分け、今年度前期の学校生活や学習
いて、児童・保護者・教職員の回答結果を並べて考察し、まとめたものをお知らせいたします。グラフの割合
「そう思う」、「大体そう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」としています。質問内容は同
が、対象によって聞き方を変えています。（児）は児童への質問、（保・教）は保護者・教職員への質問です

本アンケートの結果から、今後の子たちへの関わりを見直す機会として学校評価の結果をとらえていきたい
います。なお、本アンケートの回答率は約７９％でした。ご協力ありがとうございました。

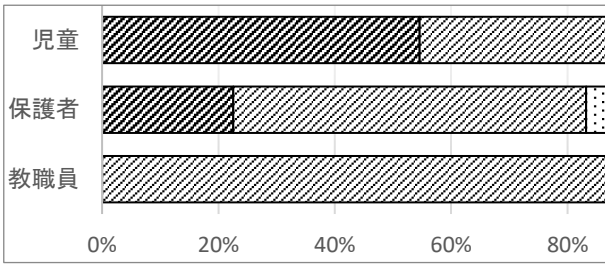
確かな学力

「自ら学び、進んで表現する子」

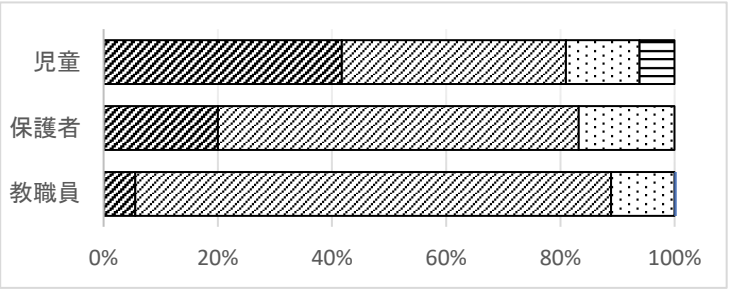
1　がっこうの　べんきょうは　よく　わかる。（児）
子どもは授業を理解している。（保・教）



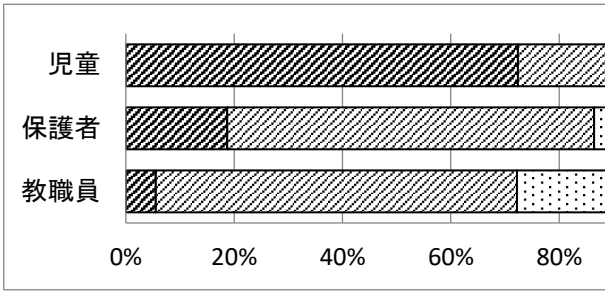
2　かんじ（もじ）の よみかきや さんすうの けいさんは でき
子どもは基礎学力が身についている。（保・教）



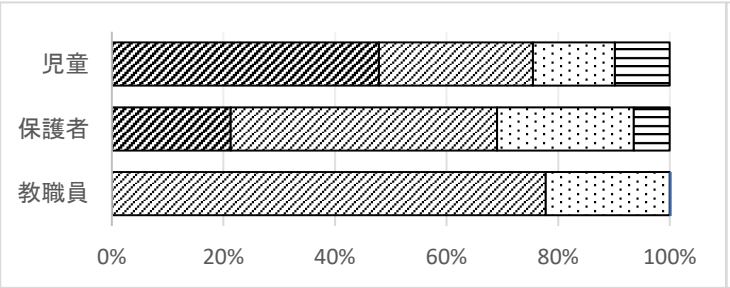
3　じゅぎょうちゅうに　じぶんの　いけんや　かんがえを　はなしている。（児）
子どもは自分の意見や考えを話すことができている。（保・教）



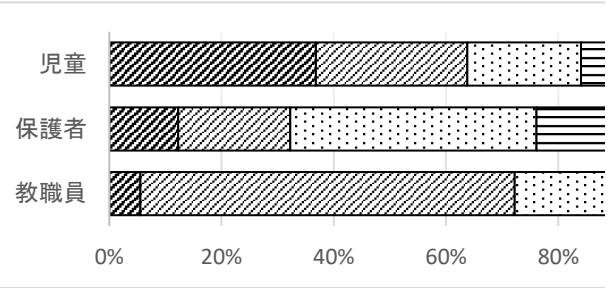
4　ともだちの　いけんや　かんがえを　しっかり　きいている
子どもは人の意見や考えを聞くことができている。（



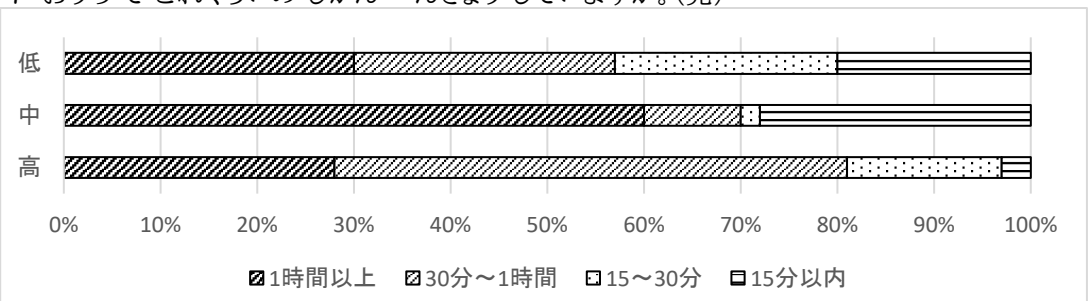
5　おうちでの　しゅくだいや　がくしゅうは　きまった　じかんに　やっている。（児）
子どもは家庭学習の習慣が身についている。（保・教）



6　がっこうや　おうちで　よく　どくしょを　している。（
子どもは進んで読書をしている。（保・教）



7　おうち で どれくらいの じかん べんきょう していますか。（児）



全体的に児童のA評価が最も多く、児童の自己評価が高い傾向があります。

設問２「子どもは基礎学力が身についている」かについて、３者とも概ねAB評価をつけています。学校では学習やパワーアップタイムを通して、基礎学力を育んでいきます。 ご家庭でも、自学自習の観点から「自分からことをコツコツ学ぶ習慣」を応援していただけるとありがたいです。

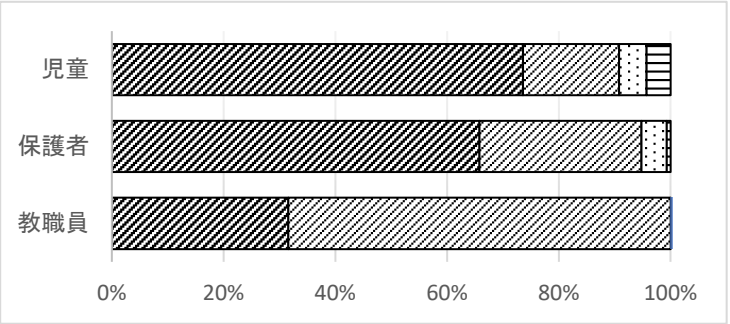
設問４「子どもは人の意見や考えを聞くことができている」かについて、教職員のC評価の割合が２８％と高います。聞く力の育成のためには、「話し手を見る」、「うなづいて聞く」など、聞く姿勢の具体の姿を子どことが引き続き重要だと考え、児童に働きかけていきます。

設問６「子どもは進んで読書をしている」かについては、学校に比べて家庭での読書時間が少ない傾向が見た。低学年は、読書習慣スコアが最も高く、読書への親しみが強い傾向、中学年は低学年に比べてやや低下傾れ、読書習慣の維持が課題、高学年ではさらに低下し、読書への関心が薄れている可能性があります。学年がつれて、児童自身の読書習慣に対する評価が低下する傾向が見られました。これは、学習量の増加や興味関心よる影響が考えられます。学校では主に朝読書や課題が終わったら読書をする習慣がついており、本に親しむります。ご家庭でも保護者の方が読書する姿を見て、子どもにも浸透していきます。例えば「寝る前の15分読ど、日常の中に家族での読書時間を取り入れてみてはどうでしょうか。想像力や語彙力の向上につながります

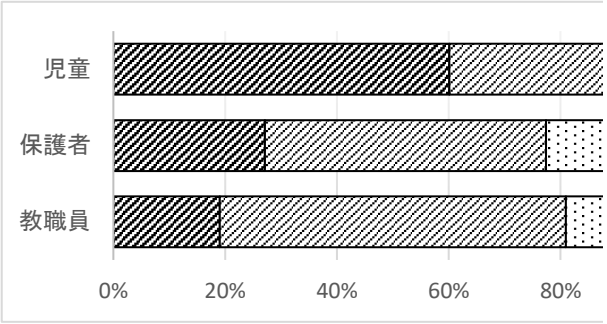
豊かな心

「多様な価値観を互いに尊重し合う子」

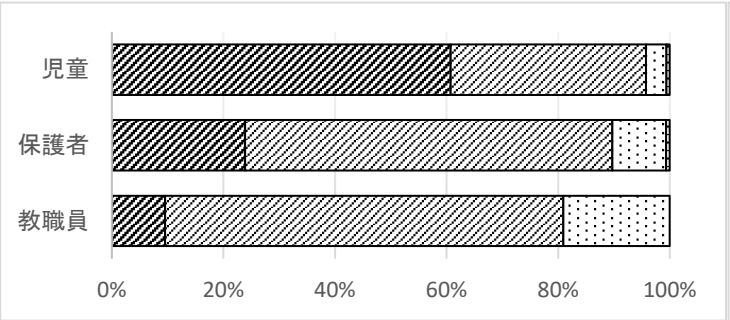
8 がっこうは たのしい。(児)
子どもは学校を楽しんでいる。(保･教)



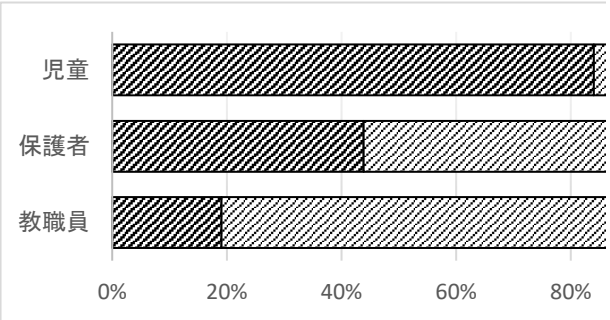
9 すすんで あいさつを している。(児)
子どもは進んであいさつをしている。(保･教)



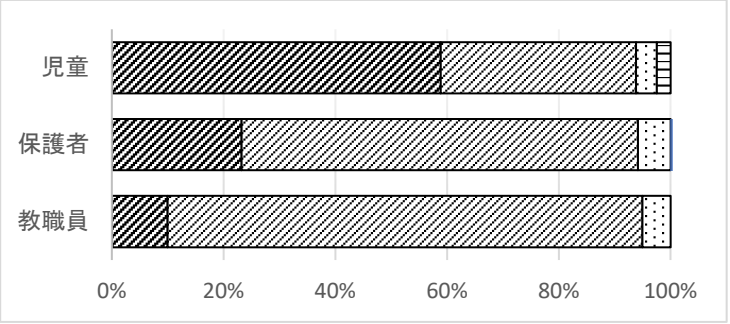
10 ともだちの きもちを かんがえて ことばを つかっている。(児)
子どもは友だちに対して、思いやりのある話し方ができている。(保･教)



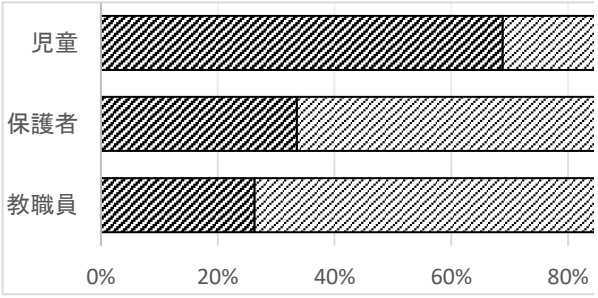
11 いじめや なかまはずれはせず、 ともだちと なかよく し
子どもは、友だちとなかよくしている。(保･教)



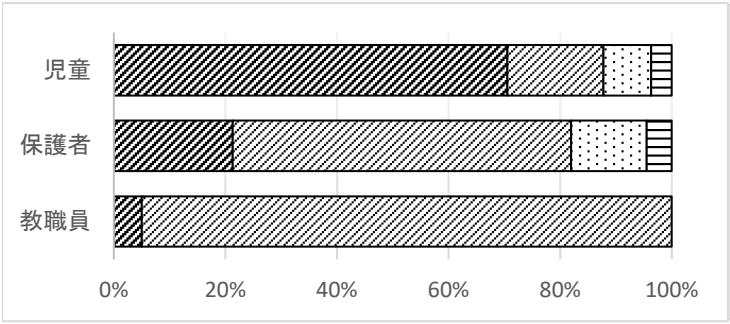
12 ともだちは、 わたしの よいところを わかっている。(児)
子どもは友だちから良いところをわかってもらっている。(保･教)



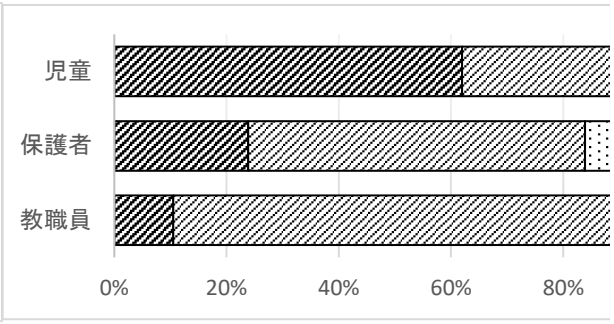
13 たんにんの せんせいは、わたしの よいところを わかって
子どもは担任の先生から良いところをわかってもらって
子どもは先生から良いところをわかってもらっている。(



14　がっこうの　せんせいは　そうだん　しやすい。(児)
　　子どもは教職員に相談しやすいと感じている。(保･教)



15　きまりや　やくそくを　もまっている。(児)
　　子どもはきまりや約束を守っている。(保･教)

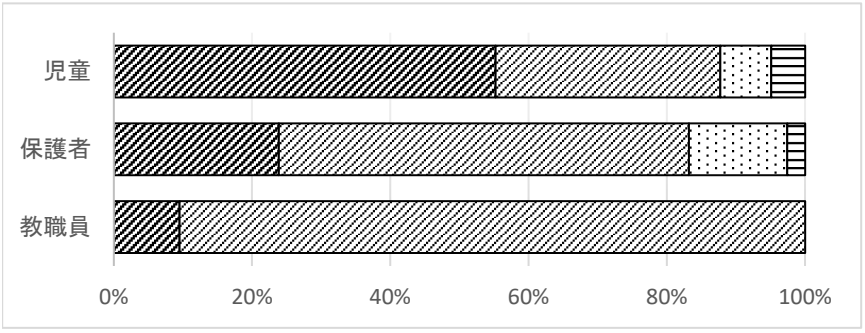


設問８「子どもは学校を楽しんでいる」かを問う設問では、前回の調査結果と比べると保護者のA評価が約
ト上がっています。教職員が全ての児童に対して温かく接し、全ての人を大切にする対応を心がけていること
して学校生活を送れていることが保護者の皆様にも伝わっているのではないかと感じます。また、校内環境の
エアコンの調子が悪いときも素早く業者さんに改修をしていただいたり、暑さ指数の関係で外で遊べない日も
やPTAから購入していただいたUNOを教室で活用したりすることにより、児童が学校で充実して過ごす環境が
ことも理由として挙げられると考えます。これからも児童の自己肯定感や学習意欲を高められるような取組を
きます。

設問１０の児童への質問「ともだちの　きもちを　かんがえて　ことばを　つかっている」かについてはA
１%です。裏を返せば、できていないことがあった児童は３９%という結果でした。児童に「思いやりのある
いっていいな」と思えるようには、ロールプレイや絵本を使った道徳授業で、言葉の大切さを体感することを
授業づくりを進めます。ご家庭でも、日々の会話の中で優しい言葉かけや行動を心がけていただけると、自然
たちに浸透していきます。

健やかな体　　*「心と体を大切にする子」*

16「はやね･ はやおき･ あさごはん」 を まもっている。(児)
　　子どもは規則正しい生活を送っている。(保･教)



○5月大型連休明けの「生活リズム調べ」の結果より

◎就寝時刻の様子

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
①	33.1%	36.8%	54.5%	41.8%	58.6%	47.7%
②	22.3%	31.6%	28.5%	58.6%	26.7%	29.0%
③	44.6%	31.6%	17.0%	26.7%	14.8%	21.4%

①…低学年9時までに就寝　　中学年9時半までに就寝　高学年10時までに就寝　←目標就寝時刻
②…低学年9時半までに就寝　中学年10時までに就寝　高学年11時までに就寝
③…低学年9時半以降に就寝　中学年10時以降に就寝　高学年11時以降に就寝

◎朝食摂取の様子

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生

100.0%	94.2%	98.8%	95.9%	93.4%	93.8%

◎起床時刻の様子

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
①	62.2%	60.9%	64.6%	62.0%	64.0%	66.4%
②	31.8%	33.0%	25.6%	26.4%	22.7%	19.2%
③	6.1%	6.1%	9.8%	11.7%	13.3%	14.4%

①…全学年7時までに起床　←目標起床時刻
②…全学年7時半までに起床
③…全学年7時半以降に起床

就寝の様子では、低・中・高学年で目標就寝時刻を分けているため、正しく比較はできませんが、９時半の子を見ると、低学年～中学年では５割以上が就寝できており、高学年から５割以下になる傾向があるようです生は、花背山の家の宿泊前で早寝を意識しており、良い結果がでました。）

起床の様子では、６割以上が７時までに起床していました。「生活リズム調べ」の感想を見ていると、学年につれて、時間を意識して行動できたと記載が増え、少しずつ自分のことは自分でできるようにと子どもたちている様子が見られました。低学年では、家庭の環境が影響しやすいため「一緒にがんばろうね」「自分がゆてしまったので、反省です」など一緒に取り組んでくださっている様子がコメントから伝わりました。

朝食の様子は、ご家庭でご協力いただいているおかげで、多くの児童が朝食を食べて登校できています。欠としては、食欲が出ない、朝の時間がとれないなどが挙げられました。特に暑い時期の欠食は熱中症を高めるありますので、欠食が続いていた児童には、個別で声をかけるなどの対応をとっていきたいと思います。

保護者の皆様より　自由記述（一部抜粋）

・高学年になり、運動する機会が増えました。日々運動する事で、体力がつき、健康に繋がってると思いますだった運動にも、前向きに取り組めるような環境を作って下さった先生や、友達に、感謝しています。

→お子様が高学年になり、運動に前向きに取り組む姿勢が育まれていること、そして日々の活動を通して体面での成長を感じていただけていることを、大変嬉しく思っております。運動が苦手だったお子さんが、教職との関わりの中で少しずつ自信を持ち、積極的に取り組めるようになったことは、教職員にとっても大きな励

・学校であった友達とのやり取りをたくさん話してくれるようになりました。楽しい事ばかりではないですが験こそが学校に行く意味なんだと気がつく事が出来ました。

→お子さんが学校での出来事を楽しそうに話してくださるようになったとのこと、学校生活の中で人との関して多くの経験を積まれている様子が伝わります。楽しいことばかりではない中で、そうした経験の一つひと校に行く意味」につながっていると感じていただけたことは、大変うれしいことです。今後も、子どもたちが学び、挑戦できる環境づくりに努めてまいります。

・宿題が多く、宿題を終えるのに毎日１時間以上かかっています。6時間の日は特に自宅でのプライベートの時と遊んだり、本を読んだり、テレビを見たり）が持てずにいます。

→同様のご意見が複数挙がっておりますので、各学年、宿題の量が適正がどうか再度検討いたします。

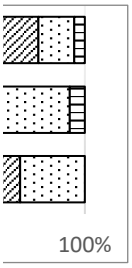
学校運営協議会の皆様より

和7年9月
秦小学校
土田　清乃

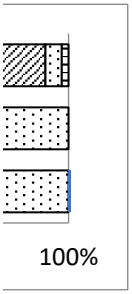
る学校評

の様子につ
は左から
じです
。
と考えて

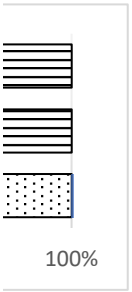
ている。（児）



。（児）
（保・教）



児）

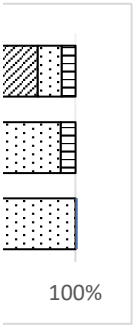


です

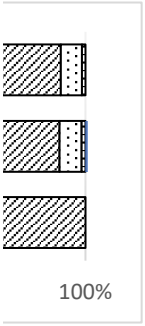
は今後も朝
が学びたい

高くなって
ともに示す

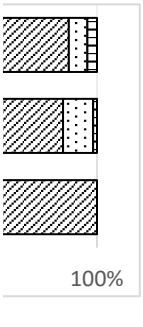
られまし
向が見ら
上がるに
の変化に
機会があ
読書」な
。

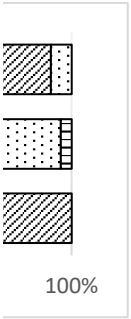


ている。(児)



ている。(児)
いる。(保)
教)





２０ポイン
で、安心
面では、
トランプ
向上した
続けてい

評価が６
言葉づか
意識した
に子ども

就寝の様
。（５年

が上がる
が意識し
っくりし

食の理由
リスクも

。嫌い

力や健康
員や友達
みです。
、その経

わりを通
つが「学
安心して

時間（友達